

# 予算特別委員会

## 予算特別委員会委員

## ◎…委員長 ○…副委員長



江口元気委員長

- ◎江口 元気 ○門倉 正子 ○中町 聡 永元 香子 あべ みさ  
 原 ゆき 山本 洋輔 いしとびかおり さとう ゆき 高島 奈美  
 桑川 敏男 松本あきひろ 瀬 順弘 大沢 純一 大石 ふみお  
 若木 早苗 上條 彰一 稲橋 ゆみ子 中山 ひと美 福島 正美  
 伊藤 幸秀 伊藤 大輔

(※議長、副議長、及び代表質問を行った4名を除く全議員)

3月6日から10日にかけて5日間にわたり審査を行い、令和5年度一般会計予算、特別会計国民健康保険事業予算及び立川市国民健康保険条例の一部改正を賛成多数で、その他の特別会計予算、下水道事業会計予算については全会一致で可決すべきものと決しました。

一般会計は、過去最大規模の予算額となる予算案が市長から提出され、活発な質疑が行われました。また、一般会計予算、国民健康保険事業の予算及び条例の一部改正には修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

## 予算特別委員会が出た主な質疑項目

予算特別委員会では、すべての委員が各経費ごとに、さまざまな質問を行います。各経費ごとの主な質問は下記のとおりで、ここでは4名の質問を取り上げています。

### 一般会計

総務費	・市役所のICT環境 ・外国人のための日本語教室 ・自転車のヘルメット努力義務化 ・レンタル電動キックボード ・GLP昭島プロジェクト ・DVの相談体制 ・選挙の投票環境 ・自治会の加入促進策 ・職員のコンプライアンス ・立川駅周辺のパトロール ・立川駅南口のにぎわいの創出 ・市ホームページの改善 ・旧若葉小学校跡地の暫定活用 ・行政手続のデジタル化 ・デジタルデバйд対策 ・庁舎の光熱水費 ・男女平等参画推進審議会	総務費	・コトリンクの運営管理 ・ファーレ立川アートの活用 ・市内の特殊詐欺の状況 ・生理用品の配布	衛生費	・健康ポイント事業の改善 ・太陽光パネルの活用 ・産後ケア事業の充実 ・ふたご手帖の活用 ・公共施設の省エネ ・自死遺族の支援 ・ごみ資源の再利用 ・成人歯科健診の周知 ・カーボンニュートラルに向けた基本方針	教育費	・第三小学校の複合施設化計画 ・立川シティハーフマラソンの魅力向上 ・東京グローバルゲートウェイグリーンスプリングスの利用補助 ・新学校給食共同調理場の課題 ・小・中学校のALT派遣授業 ・スクールロイヤー制度の導入 ・小学校水泳指導の民間委託 ・小・中学校への電子黒板導入 ・スクールソーシャルワーカーの役割		
	民生費	・障害者の移動支援 ・放課後子ども教室 ・学童保育所の待機児 ・保育園の一時預かり ・要保護児童対策地域協議会 ・保育園のICT環境 ・自立支援医療の支援体制 ・介護人材緊急確保対策 ・生活保護相談者への対応 ・子どもの無料学習支援教室 ・民生委員の充足 ・高齢者のおむつ助成	労働費		・就職氷河期世代の就労支援		特別会計	国民健康保険事業	・マイナンバーカードの保険証利用 ・データヘルス計画 ・国民保険料の市民負担分 ・特定健診と特定保健指導
	衛生費	・乳がん、子宮頸がんの検診	農林費		・みの一れ立川の10周年事業				
		土木費	・居住支援協議会の運営 ・JR立川駅前のデッキ管理 ・市営シルバーピア住宅の管理運営		消防費				・総合防災訓練の活性化
		教育費	・学校間ネットワークの状況 ・中学校部活の外部指導員						

## 市民との協働

### 地域の担い手への支援は

中山 ひと美 (自民党クラブ)



**問** 令和5年度予算は、市民との協働という視点で市民の求めるものになっていますか。人手不足や超高齢化で、交通安全協会、老人会、自治会等、地域を担う団体が解散したり活動に支障を来したりしています。こうした現状を市も把握しているはずですが、市民との協働を市はうたっていますか、そのためのサポートは考えていますか。今も大変な思いをして頑張っているの、市の予算も必要など適度に配分し、対応できる予算とすべきと考えます。

**答** 人口減、少子化、結婚・妊娠・出産からその後の子ども施策、高齢化と課題が繋がっている中で、地域でこれらの課題に取り組んでいくためには、協働がキーワードになることが大事であると考えています。市としても、多様な主体が関わっていく中で協働をいかに支援していくかということについては、次の長期総合計画に向けて検討したいと思いますが、令和5年度の中でもできるサポートについては検討していきたいと考えています。

その他の主な質疑項目 ▷地域交付金 ▷防犯カメラ ▷子育て・健康複合施設整備事業 ▷街路樹のせん定 ▷都市軸の維持管理 ▷立鉄中付2号線 ▷競輪場の避難所としての活用 ▷たちかわ競輪

## 交通安全協会

### 存続できるよう積極的な支援を

大石 ふみお (国民民主党)



**問** 交通安全協会は、市の交通安全推進体制に欠かせない組織と考えますが、まず、市にとっての交通安全協会の役割や重要性等の認識を伺うとともに、各支部の状況や課題についてもお示しください。私の住んでいる羽衣町の実態を見ると、活動人数は激減し、存続が危ぶまれています。交通安全協会の重要性を認識しているのであれば、市から積極的な支援を提案していく必要があると考えますが、具体的な支援策等は考えていないのか伺います。

**答** 交通安全協会は、交通安全講習会等さまざまな事業を行っている重要な組織と認識しています。現在、立川・国立地区の会員数は約2,000人ですが、各支部において実際に活動している方は多くとも10数名という報告を受けており、課題と考えています。一部の支部長は市の積極的な関与を求めています。交通安全協会は独立した組織であり、交通安全協会の本部に方向性をまとめていただいた上で、市は何ができるかを検討していきたい。

その他の主な質疑項目 ▷公用車への電気自動車導入 ▷障害者雇用の促進 ▷デジタル人材の採用 ▷税外収入の確保 ▷あいあいパトロール隊 ▷選挙の投票率向上 ▷泉町西公園の整備 ▷西国立駅の整備

## 保育の質の確保

### ガイドラインを作成すべき

門倉 正子 (公明党)



**問** 待機児童対策として保育施設の増設を進めてきた一方で、保育の質をどう確保するのが課題であり、指導監督の立場にある市の役割は大きいと考えます。令和5年度はどのように取り組めますか。また、保育の質の向上に向け、市の保育が目指すもの、大切にしていることなど、子どもの最善の利益を守ることに、子どもに関わる多くの方と考え方を共有するために、保育の質のガイドラインを作成すべきと考えますが、市の見解を伺います。

**答** 昨年3月に保育のあり方検討委員会の中で、保育の質の見える化をすること、またその際に子ども、保護者、施設や園の運営側の3つの視点で保育を考えて良好な保育を提供できる環境づくりを進めることが提言されています。令和5年度は、市の単独の指導検査に加え、巡回保育という手法で、現場の質の確認を行います。現在、今後の保育施策の方向性を整理しているところであり、その中で、ガイドラインの策定についてもあわせて検討していきたい。

その他の主な質疑項目 ▷DV被害相談 ▷プレミアム婚姻届 ▷投票環境の充実 ▷学童保育所管理運営 ▷多胎児家庭の支援 ▷HPVワクチン接種 ▷子宮頸がん検診 ▷外来生物の防除

## 育児支援ヘルパー事業

### 必要な人たちにしっかり周知を

さとう ゆき (日本維新の会)



**問** 育児支援ヘルパー事業について、令和5年度に価格改定を行い、より安定的なサービスを目指す、とのことですが、サービスの供給体制についてお示しください。また、助産院や産婦人科等で働く専門の方たちから、「利用対象である妊産婦たちは、この事業について知らない人が多い」と聞きました。せっかくきちんとした事業体制があるのなら、本当に必要な人に届くよう、しっかり周知していただきたいと考えますが、見解を伺います。

**答** 育児支援ヘルパー事業は、段階的に利用枠を増やしてきた結果、全体的な利用回数が増え、ヘルパーを派遣している事業所との調整が難しい場面も出てきました。そのため、業者の新規参入を促すためにも、事業発足時から変わっていなかった委託単価を実勢価格にあわせて引き上げたいと考えています。周知については、母子手帳の交付時やブックスタート事業等の機会に行っていますが、今後も一層力を入れて取り組んでいきます。

その他の主な質疑項目 ▷子どもショートステイ